

## ストローブ松造林試験

技 師 伊 藤 忠 男  
技 師 渡 部 政 善  
助 手 青 砥 一 郎

### 1. 目 的

本試験は現地適用試験として5割の国庫補助をえて昭和33年度より新規に実施せるもので寒冷地帯に適する外国樹種ストローブ松の成林可能地域の限界及経済的育成に関する検討を目的とする。

### 2. 試 験 内 容

試験地は地理的条件の異つた方部即ち会津（南会津郡田島町），中通（東白川郡埴町），浜通（双葉郡川内村）の三地域に設定した。

#### (I) 1. 試 験 地

##### (A) 試験地の概況

##### (1) 位 置

双葉郡川内村大字下川内字田ノ入

##### (3) 地 況

本地域は富岡川上流の阿武隈山系に位し、老年期地形を呈し、丘陵性を帯びる。調査地は支流茨川に沿つた東南面の流域斜面にある。基岩は古期花崗閃緑岩よりなり概ね15度の傾斜地でB<sub>D</sub>型土壌である。海拔高500m

##### (3) 林 況

コナラ、マンサク、リョウブ、ガマズミ、レンゲツツジ、コアジサイを主とする雑木林を昭和33年4月伐採し地帯を行つた。

##### (4) 気 候

年平均気温 10.4°C

年平均降水量 1,373.5mm

##### (B) 試 験 方 法

ストローブ松とアカ松の造林の成績を比較検討する。

(C) 試験区別 (第1表のとおり)

第1表 試験別明細表

試験区	樹種	植栽密度 (0.1ha当)	植栽本数	面積	摘要
1 試験区	ストロブ松	300本	600本	0.20ha	植栽木…ストロブ松実生 4年生 1,800本 (北海道函館営林署産)
	アカ松	300	600	"	
2 試験区	ストロブ松	300	600	"	アカ松実生2年生 1,800本 (双葉郡浪江町室原産)
	アカ松	300	600	"	
3 試験区	ストロブ松	300	600	"	植栽年月日… 33年5月15日
	アカ松	300	600	"	
計		—	3,600	1.20	

(D) 試験成績

各区に0.2haの標準地を設けて昭和33年10月10日成長量調査を実施した。その結果は第2表のとおりである。

第2表 成長量調査成績

種別	1 試験区		2 試験区		3 試験区		平均	
	ストロブ松	アカ松	ストロブ松	アカ松	ストロブ松	アカ松	ストロブ松	アカ松
活着率	90.0%	78.0%	100.0%	89.0%	96.0%	79.0%	93.0%	82.0%
樹高成長量	10.7cm	14.0cm	8.9cm	13.8cm	9.5cm	12.0cm	9.7cm	13.2cm
平均樹高	33.0"	24.0"	29.1"	26.4"	35.0"	24.1"	32.3"	24.8"
平均直径	9.4mm	9.3mm	9.0mm	7.1mm	10.2mm	7.4mm	9.5mm	7.8mm

(I) 2 試験地

(A) 試験地の概況

(1) 位置

東白川郡埴町(旧笹原村)大字木の反字押立

(2) 地況

本試験地は久慈川支流の川上川上流に位し、緩かな丘陵性を帯びた山地である。調査地は東南に面した阿武隈黒雲母花崗岩の基岩よりなり、概ね20度の傾斜地でB<sub>D</sub>型土壌である。

海拔高 440m

(3) 林況

クヌギ、コナラ、マンサク、リョウブ、ガマズミ、モミジイチゴを主とする雑木林を昭和33年4月伐採し地帯を行った。

(4) 気候

年平均気温 12.6°C

年平均降水量 1,550mm

(B) 試験方法

ストロブ松とアカ松の造林の成績を比較検討する。

(C) 試験区別 第1試験地に同じ

(D) 試験成績

各区に0.2haの標準地を設けて昭和33年10月10日成長量調査を実施した。その結果は第3表のとおりである。

第3表 成長量調査成績

種 別	1 試 験 区		2 試 験 区		3 試 験 区		平 均	
	ストロブ松	アカ松	ストロブ松	アカ松	ストロブ松	アカ松	ストロブ松	アカ松
活 着 率	90.0%	72.7%	100.0%	97.0%	96.2%	78.1%	95.4%	82.6%
樹 高 成 長 量	4.8cm	1.6cm	5.3cm	3.3cm	8.3cm	1.6cm	6.1cm	5.2cm
平 均 樹 高	34.3"	21.2"	31.8"	30.5"	33.1"	32.3"	33.1"	28.0"
平 均 直 径	10.9mm	6.7mm	10.4mm	7.1mm	10.8mm	7.8mm	10.7mm	7.4mm

(■) 3 試 験 地

(A) 試験地の概況

(1) 位 置

南会津郡田島町大字糸沢字西沢山

(2) 地 況

本試験地は荒海川支流、長沢、沢沿いの丘陵性山地である。調査地は東に面した新第三紀下部層(会津型)石英安山岩を基岩とする傾斜25度の山地で中腹以上は多年に亘り流出の結果風化土壌が少なくなっている。B<sub>0</sub>型土壌である。

海拔高 720m

(3) 林 況

コナラ、オナラ、アジサイ、クマイチゴ、レンゲツツジを主とする雑木林を昭和33年4月伐採し地拵を行った。

(4) 気 候

年平均気温 9.9℃

年平均降水量 1,585mm

(B) 試験方法

ストロブ松とアカ松の造林の成績を比較検討する。

(C) 試験区別 1.2試験地に同じ。

⑤ 試験成績

各区に0.2haの標準地を設けて昭和33年10月10日成長量調査を実施した。その結果は第4表のとおりである。

第4表 成長量調査成績

種別	1 試験区		2 試験区		3 試験区		平均	
	ストロブ松	アカ松	ストロブ松	アカ松	ストロブ松	アカ松	ストロブ松	アカ松
活着率	87.2%	98.4%	100.0%	69.6%	100.0%	49.0%	95.7%	72.0%
樹高成長量	8.1cm	20.4cm	7.0cm	10.5cm	5.9cm	12.7cm	7.0cm	14.5cm
平均樹高	32.4"	32.7"	26.8"	26.3"	32.1"	32.7"	30.4"	30.5"
平均直径	1.1mm	1.1mm	1.0mm	0.9mm	1.2mm	0.9mm	1.1mm	0.9mm

3. 試験結果に伴う考察

1, 2, 3試験地成績は第5表のとおりであるが特に次の点が注目された。

- (1) 各試験地ともストロブ松の方がアカ松に比較して活着がよかつた。
- (2) 樹高成長量については2試験地を除きストロブ松よりアカ松の方が成長がよかつた。

第5表 各試験地成長量調査成績

種別	1 試験地		2 試験地		3 試験地		平均	
	ストロブ松	アカ松	ストロブ松	アカ松	ストロブ松	アカ松	ストロブ松	アカ松
活着率	93.0%	82.0%	95.4%	82.6%	95.7%	72.0%	94.7%	78.8%
樹高成長量	9.7cm	13.2cm	6.1cm	5.2cm	7.0cm	14.5cm	7.5cm	9.9cm
平均樹高	32.3"	24.8"	33.1"	28.0"	30.4"	30.5"	31.9"	27.8"
平均直径	9.5mm	7.8mm	10.7mm	7.4mm	1.1mm	0.9mm	7.0mm	5.3mm

(ストロブ松成長状況)



(試験地状況)

